

2020-027

研究課題名	多発外傷に対する早期脊椎固定術への障害と予後への影響についての研究
実施責任者	所属・職名： 脳神経外科 医長
	氏名： 福岡 俊樹
研究の概要	当院では、重症の多発外傷の患者様が多く搬送されてきます。重度の脊椎の骨折を伴う方も多く、早期に離床するためには手術が必要ですが、全身の状態が悪い方には早期の手術が行えないことがあります。手術の適正な時期について、治療を受けた患者様の情報をもとに、解析し検討することが目的です。
対象となる個人情報	年齢、性別、多発外傷の重症度、脊椎骨折の程度、手術時期、臨床的予後などの臨床情報及び画像情報
実施の期間	西暦 2010年 1月 1日より
	西暦 2020年 8月 14日まで
研究対象	当院で治療を受けられた、脊椎固定術を要した重症の多発外傷の方。